

平成23年3月期第2四半期決算説明資料

平成22年11月



セブン銀行



ハイライト	1頁	第3世代ATMの導入	8頁
損益状況	2頁	財務状況	9頁
ATM台数の着実な増加	3頁	資金調達の状況	10頁
利用件数とATM受入手数料単価	4頁	配当政策・資本政策	11頁
収益見通し	5頁	参考資料	12頁～24頁
新事業の創出	6～7頁		

本資料には、株式会社セブン銀行の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しています。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他ATM事業及び金融サービス事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。

【 2010年度中間決算 】**◆ 経常利益(149億円)、中間純利益(88億円)ともに上期計画達成**

～ ATM台数の増加を主因に総利用件数は310百万件(前年同期比+4.5%)

～ 経済条件の見直しによるATM受入手数料単価の低下、貸金業カードの利用減少が影響し、
経常収益は24億円の減収

【 2010年度通期見通し 】

◆ 経常収益は下方修正するが、経常利益・当期純利益は当初計画の達成を見込む

◆ 減収要因は年度内でほぼ一巡し、2011年度は再び増収増益基調へ

【 株主還元 】

〔 配 当 〕 中間配当:2,600円(期初予想通り)
 期末配当:2,600円(期初予想)を据置き

〔 自社株買い 〕 3万株・50億円を上限とする自社株買いを実施

損益状況

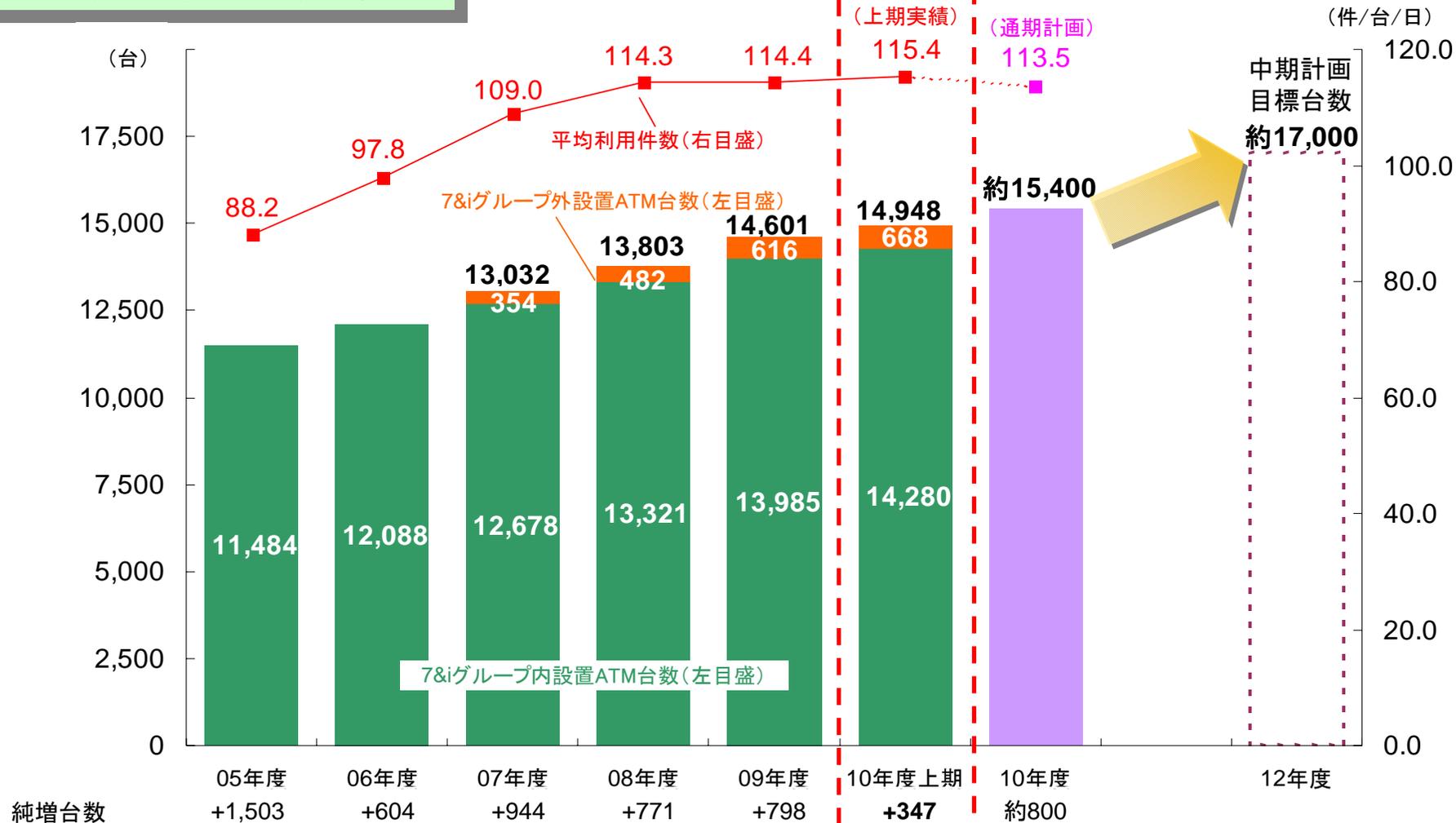
(単位: 億円)

	09年度		10年度		10年度			10年度	
	実績	上期	期初計画	上期	上期実績	前年差異	計画差異	修正計画	前年差異
経常収益	888	456	869	438	431	△24	△6	852	△35
うちATM受入手数料	852	438	833	421	414	△23	△6	819	△33
経常費用	584	293	594	291	281	△11	△9	578	△6
うち資金調達費用	21	11	20	10	10	△1	△0	19	△1
うちATM設置支払手数料	90	44	96	47	47	+2	△0	94	+4
うち業務委託費	139	70	145	73	71	+0	△1	144	+4
うち保守管理費	35	19	42	18	18	△1	△0	41	+5
うち土地建物機械賃借料	24	12	22	11	11	△1	△0	21	△2
うち減価償却費	128	62	123	56	54	△7	△1	118	△10
経常利益	304	163	274	147	149	△13	+2	274	△29
特別損益	△1	△0	△0	—	△0	+0	△0	△0	+0
法人税等合計	123	66	111	59	60	△5	+0	111	△12
当期純利益	179	96	162	87	88	△7	+1	162	△16
期末ATM設置台数(台)	14,601	14,188	約15,400	約14,920	14,948	+760	+28	約15,400	約800
ATM受入手数料単価(円)	147.9	151.4	137.0	138.2	136.9	△14.5	△1.3	135.9	△12.0
平均利用件数(件/台/日)	114.4	116.2	116.6	118.0	115.4	△0.8	△2.6	113.5	△0.9
総利用件数(百万件)	590	296	635	318	310	+13	△8	617	+27

注 計数は全て単位未満切捨て

前年差異及び計画差異は百万円単位(総利用件数は千件単位)で比較し、単位未満切捨て

設置台数と平均利用件数の推移

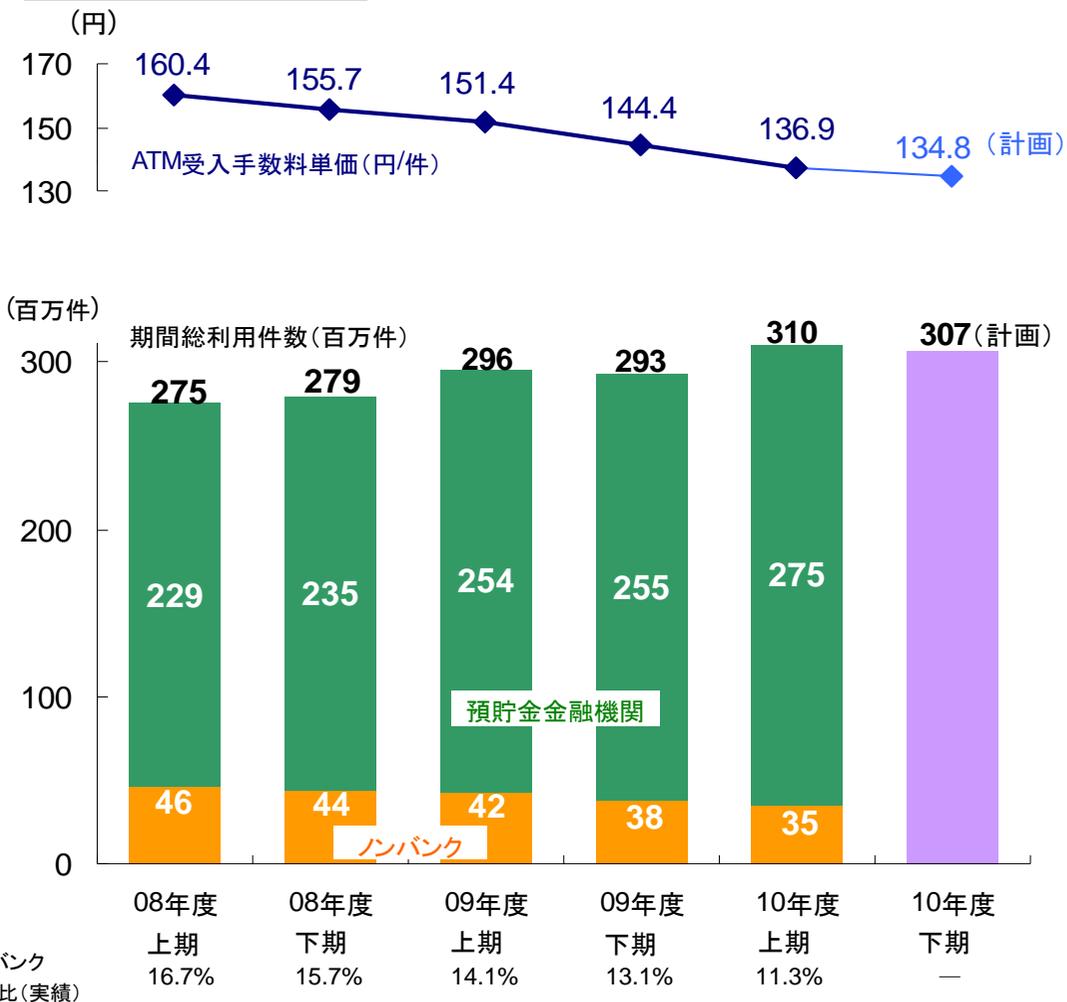


注1 平均利用件数は残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず(小数点第2位以下切捨て)

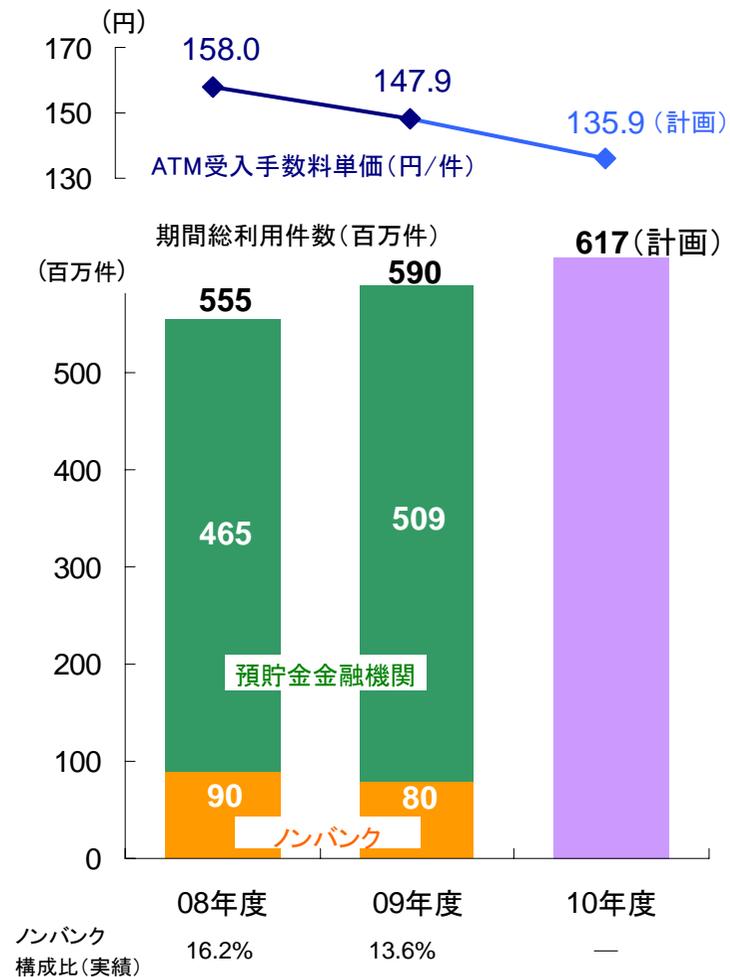
注2 10年度上期は6ヶ月間の期間平均利用件数、それ以外は年間平均利用件数

利用件数とATM受入手数料単価

半期推移

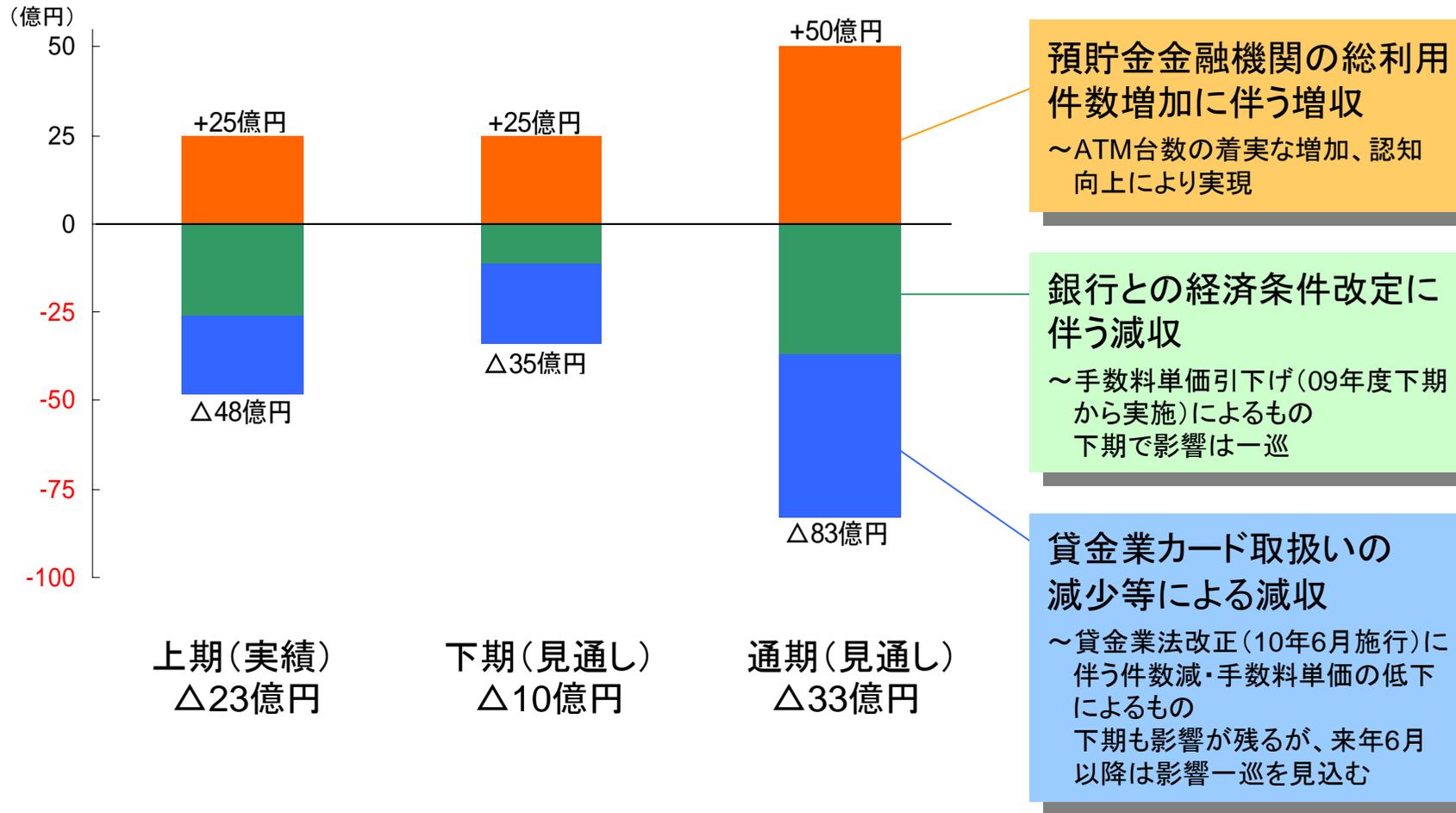


年度推移



注1 総利用件数は残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を除くベース
 注2 期間総利用件数は単位未満切捨て、ATM受入手数料単価は小数点第2位以下切捨て
 注3 ATM受入手数料単価は、ATM受入手数料÷(総利用件数-ATM受入手数料収入を伴わない利用件数<売上金入金等>)で算出
 注4 本資料におけるノンバンクは、証券会社、生命保険会社、その他金融機関の合計

ATM受入手数料の要因別増減(前年比)



- ◆ 当社の効率的・高品質なオペレーションノウハウ、多くの提携先と接続するATMネットワークと決済機能を活用した新事業の創出

ローンサービス

海外送金サービス

事務受託

海外展開の検討

個人向けローン

	10年9月末実績(3末比)
契約件数	6千件(+3千件)
ローン残高	349百万円(+223百万円)

注: 単位未満切捨て

- ・現状、口座の基本機能の位置付け
- ・貸金業法改正後の個人ローンマーケットの動向を引続き注視し、慎重かつ堅実な拡大を目指す

海外送金サービス

<進捗状況>

- ・2010年7月 Western Union(WU)と契約締結
- ・外国人の就労者や留学生へのヒアリングを通じ、効果的なマーケティング方法検討中
- ・料金体系については、新規参入業者との競争力を考慮し検討中

当社の強み

- ・強固な国内ネットワーク
- ・24時間365日利用可
- ・システム化、即時処理
- ・不正取引対策の徹底

WUの強み

- ・強固な海外ネットワーク
- ・24時間365日利用可
- ・システム化、即時処理
- ・受取口座不要

強みのフル活用+魅力的な料金設定により
年間約100万件の利用を当面の目標とする

開発の狙い

収益

お客さま満足の上

- ・スピードアップ(取引時間2/3に)
- ・使いやすさの上
- ・安心感の上



持続的な
利益成長

経費効率の上

- ・現金管理の強化によるコスト削減

▶ 効率性

環境への配慮

- ・消費電力量の抑制
- ・資源有効活用

展開計画

- ◇2010年11月～
約50台 : 西東京地区でテスト設置開始
 - ◇2011年 3月
約300台 : 東京都を中心に順次導入
 - ◇2011年度
約3,000台 : 東京都、山梨県、静岡県
中心に導入本格化
- ↓
- 2015年度上期中
全台入替を完了予定

第2世代ATMの有効活用

⇒ 海外展開時の活用を検討

財務状況(2010年9月末貸借対照表)

(単位: 億円)

ATM装填用現金、台数増加に伴い増加

主に為替決済、日本銀行当座貸越取引の担保として必要な有価証券

(ATM仮払金)

提携先のお客さまの出金取引時に提携先に代り資金をお支払いすることにより一時的に発生するもの(翌営業日に資金決済。期末日が休業日の場合は、決済ができないことから増加)

なお、ノンバンク分は当社法人口座で当日中に決済するため、原則として、B/Sに残高が残ることはない

貸出金 3 (+ 2)

主にATM

ソフトウェア、ソフトウェア仮勘定

現金預け金	3,235(+ 293)
有価証券	896(+ 2)
ATM仮払金等	740(+ 40)
有形固定資産	109(Δ 3)
無形固定資産	177(+ 10)

繰延税金資産 11
貸倒引当金 Δ0.4

資産 5,173
(+ 145)

譲渡性預金 11(Δ 91)
コールマネー 51(Δ 82)

預金(個人)	1,415(+ 119)
預金(法人)	957(+ 165)
借入金	320(+ 10)
社債	900(± 0)
ATM仮受金等	360(Δ 31)
資本金	305(± 0)
資本剰余金	317(± 0)
利益剰余金	531(+ 54)

その他有価証券評価差額金 0.1
新株予約権 1

負債+純資産 5,173
(+ 145)

流動性預金: 1,611億円
定期性預金: 758億円

2回債(06年発行)360億円(5年)
3回債(06年発行)240億円(7年)
4回債(09年発行)100億円(3年)
5回債(09年発行)200億円(5年)

負債
4,018
(+90)

(ATM仮受金)

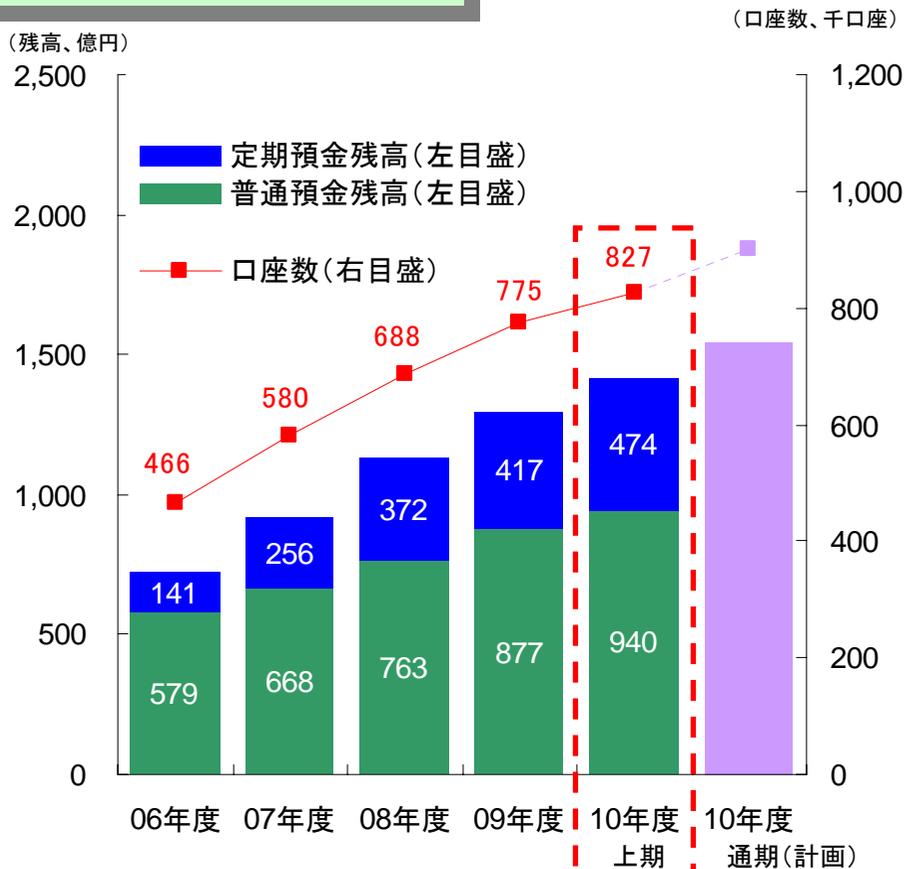
提携先のお客さまの入金取引時に提携先に代り一時的にお預かりするもの

賞与
引当金 3

純資産
1,155
(+ 55)

注 ()は10年3月末との比較。百万円単位で比較し、単位未満切捨て

セブン銀行口座(個人)の状況



注 残高・口座数は年度末(10年度上期は9月末)の計数

財務健全性と高い信用力

単体自己資本比率(国内基準) 51.78%(速報値)

格付(10年9月末現在) S&P AA-(長期発行体)

R&I AA (発行体)

今後の長期性資金の償還、返済時期・金額

(単位: 億円)

	社債		借入金	
	残高	償還	残高	返済
10年度 上期	900	—	320	—
10年度 下期	未定	—	未定	△120
11年度 上期		—		—
11年度 下期		△360		—
12年度 上期		△100		—
12年度 下期		—		—
13年度以降	△440	—	△200	

◆ 中間配当

- ・配当金額 : 1株当り2,600円(配当総額31億円)～期初予定通り
- ・配当実施日 : 2010年12月1日

なお、期末配当は2,600円を予定

◆ 自己株式取得を実施

- ・目的 資本効率及び一株当たり当期純利益の向上による株式価値の向上を図る
- ・株式数 3万株(上限)～発行済み株式総数の2.45%
- ・金額 50億円(上限)
- ・期間 2010年11月12日(金)～2011年2月28日(月)
- ・取得方法 信託方式による市場買付

Appendix

基本情報 本社所在地 東京都千代田区丸の内1-6-1
 主要業務 ATM事業／金融サービス事業

主要データ 純資産額 1,155 億円
 (2010年9月末) 資本金 305 億円
 ATM台数 14,948 台
 有人店舗 6 店
 従業員 322 人

設立のコンセプト **みんなのATM**

いつでも 24時間365日
どこでも 日本全国
だれでも 国内約560の提携金融機関
 海外発行カード
安心して 衆人環視、高セキュリティ

沿革 2001年 4月 アイワイバンク銀行設立
 2005年10月 セブン銀行に社名変更
 2008年 2月 ジャスダック証券取引所上場

主要株主(2010年9月末)

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
(株)セブン-イレブン・ジャパン	353,639	28.98
(株)イトーヨーカ堂	146,961	12.04
(株)ヨークベニマル	52,400	4.29
ステート ストリート バンク アンド トラストカンパニー	49,834	4.08
(株)ライフフーズ	30,000	2.45
ステート ストリート バンク アンド トラストカンパニー	23,689	1.94
モルガンスタンレーアンドカンパニーインク	18,293	1.49
サジャツプ	17,897	1.46
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	16,904	1.38
(株)三井住友銀行	15,000	1.22
第一生命保険株式会社	15,000	1.22

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
7&i HD関連企業	583,000	47.78
金融機関	179,318	14.69
金融商品取引業者	10,819	0.88
その他法人	75,881	6.21
外国法人等	251,530	20.61
個人・その他	119,479	9.79

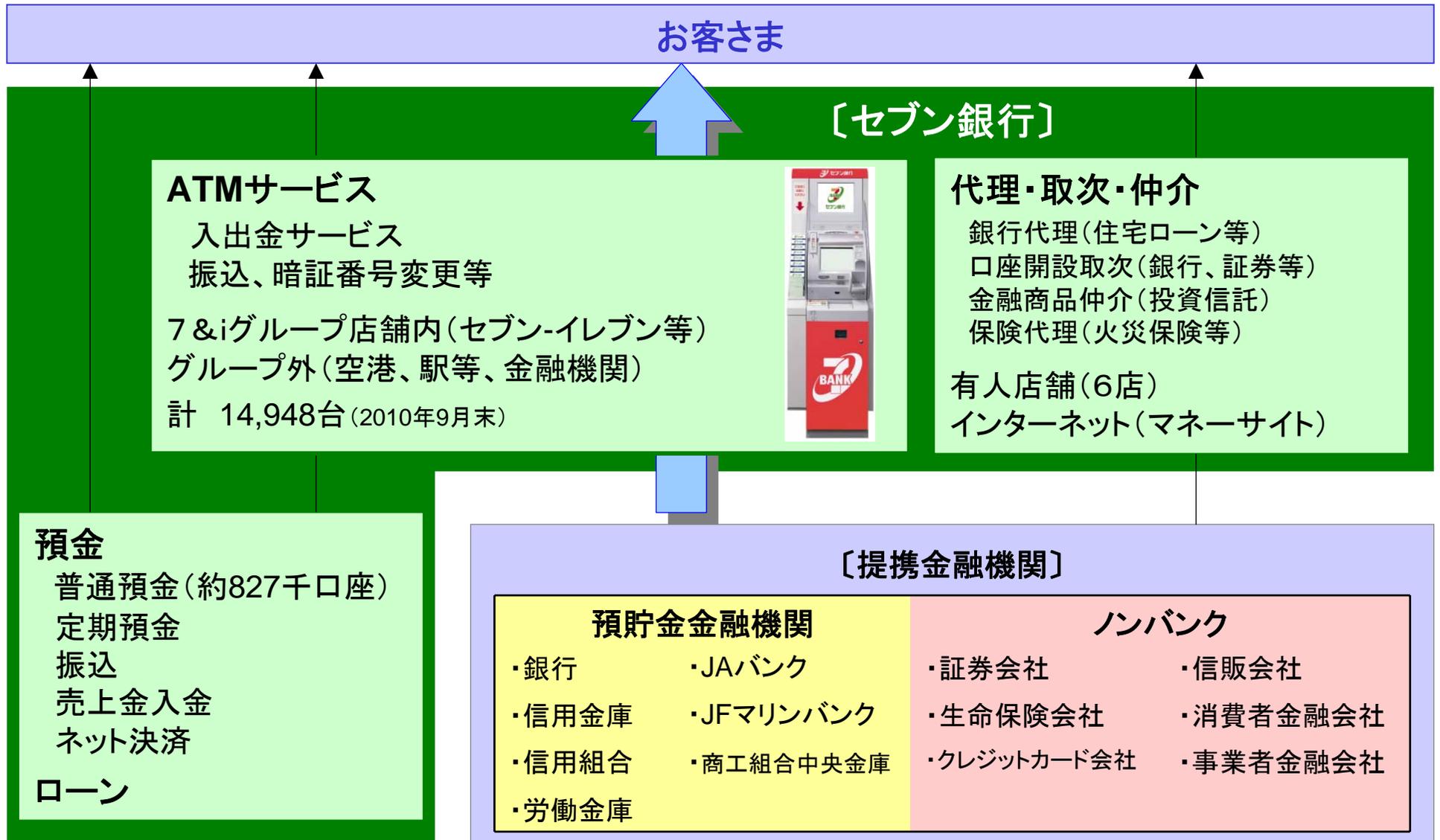
注1 持株比率は小数点第3位以下切捨て
 注2 橙色の網掛けは7&i HD関連企業
 注3 その他法人には7&i HD関連企業含まず

損益の推移(設立来)

単位: 億円

	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
経常収益	19	115	291	479	646	754	836	898	888
うちATM受入手数料	18	113	289	458	619	731	801	855	852
経常費用	140	197	260	378	452	504	590	610	584
うち資金調達費用	0	0	0	4	6	15	27	27	21
うちATM設置支払手数料	3	11	22	35	45	61	77	85	90
うち業務委託費	51	70	85	120	144	137	137	139	139
うち保守管理費	3	8	11	30	25	29	34	35	35
うち土地建物機械賃借料	20	34	46	63	75	67	47	28	24
うち減価償却費	16	26	31	35	43	54	114	154	128
経常利益	△ 121	△ 81	30	100	194	250	246	287	304
特別損益	0	0	△ 1	△ 1	△ 28	△ 40	△ 13	△ 0	△ 1
法人税等合計	0	0	△ 21	△ 9	60	83	95	117	123
当期純利益	△ 121	△ 81	50	108	105	126	138	169	179

注 単位未満切捨て





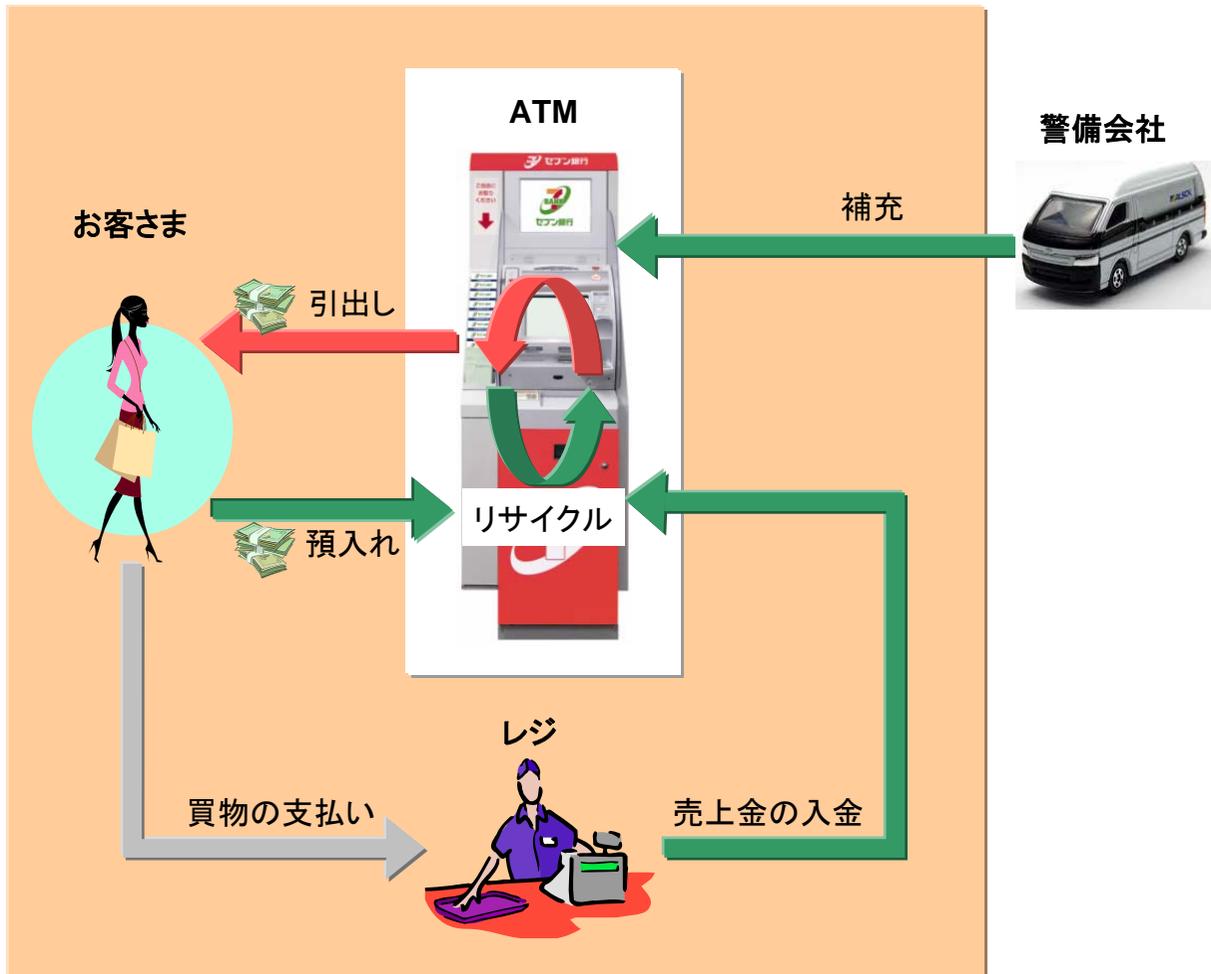
お客さま(利用者)のメリット

- 時間・場所の利便性
 - ・24時間365日いつでも利用できる
 - ・出張や旅行の際など大きな現金を持ち歩かなくてよい
 - ・全国どのATMでも同じサービスが受けられる(当社単一行が管理しているため)
- 安心・安全
 - ・コンビニ店舗だから安心

ATM提携金融機関のメリット

- 自行ATMのようなコストをかけずに年中無休のATMを全国に展開
- 自行ATMとして活用
 - ・顧客手数料はそれぞれの銀行が決定
 - ・自行ATMと同じ画面が出る
- 自行ATMの削減(コスト削減)や当社ATMを活用した営業戦略

売上金をATMで入金管理



現金補充のコストを削減

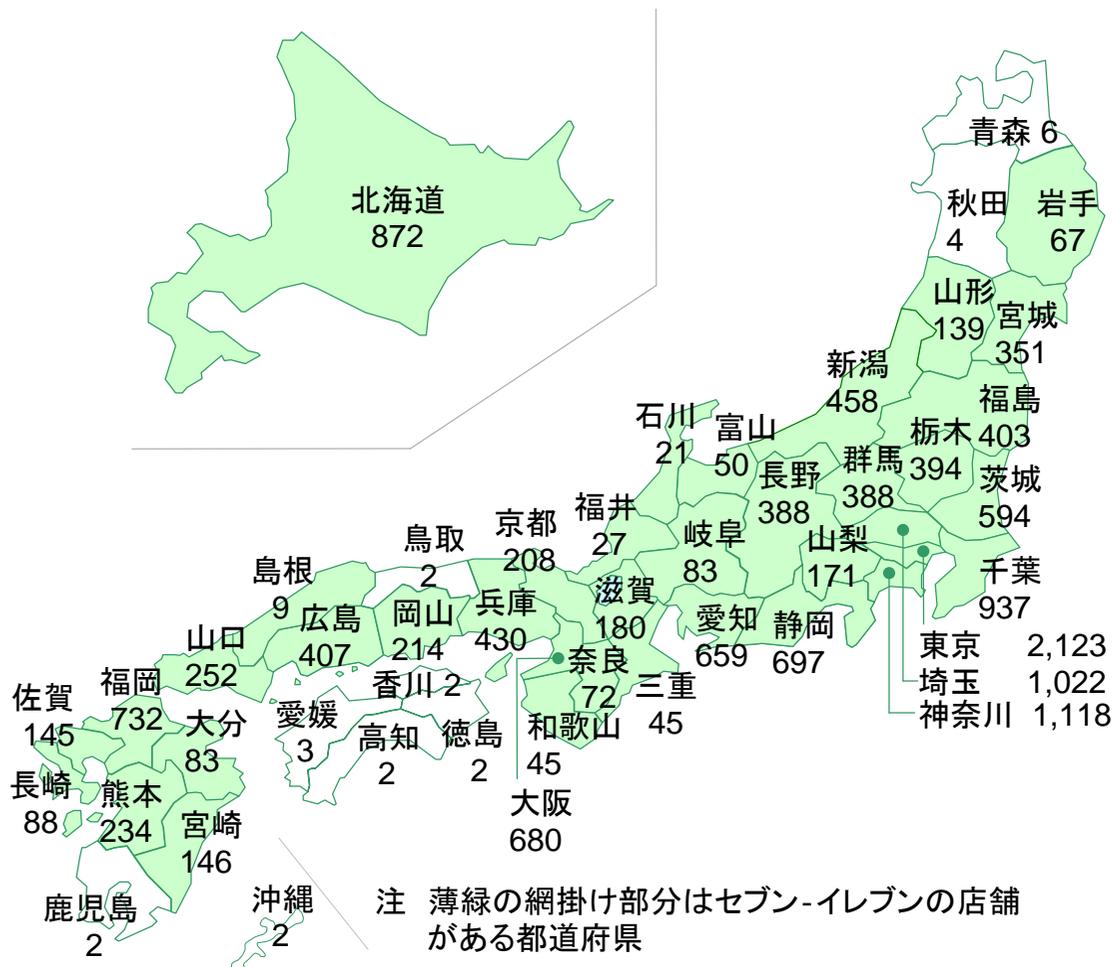
効率性の向上

(ATM1台当り月間現金交換回数)

04年度	約3.5回/台
09年度	約1.7回/台

・・・05年度からより効率的なATMへ移行
ATM設置場所毎の現金ニーズを分析し、それに最適な現金格納庫の組み合わせを選び、現金交換回数を削減。

都道府県別ATM台数(2010年9月末現在)



ATM設置台数 : 14,948台

提携先の推移

	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
銀行計	7	15	27	50	63	80	92	95	97
都市銀行	3	5	5	5	4	5	5	5	5
地方銀行	3	9	19	41	54	69	76	77	79
その他	1	1	3	4	5	6	11	13	13
信用金庫	-	-	240	241	255	263	260	264	258
信用組合	-	-	-	117	122	124	122	127	127
労働金庫	-	-	-	13	13	13	13	13	13
JAバンク	-	-	-	-	1	1	1	1	1
JFマリンバンク	-	-	-	-	1	1	1	1	1
商工中金	-	-	-	-	-	-	-	-	1
証券会社	2	2	2	2	5	8	8	8	8
生命保険会社	-	4	5	5	6	8	8	8	8
その他金融機関 <small>(消費者金融、クレジットカード会社等)</small>	-	27	35	41	47	50	49	49	41
合計	9社	48社	309社	469社	513社	548社	554社	566社	555社

注1 「セブン銀行」は提携先数には含まず

注2 07年10月に民営・分社化したゆうちょ銀行は、銀行のうち「その他」に含む

注3 JAバンク、JFマリンバンクは各々業態として1つとしている

1. 個人情報を守るデザイン

テンキー: 入力暗証番号が掌で隠れる
 操作画面: 斜め後ろから取引内容が見えない

2. 高度な防犯機能

取引時の写真を撮影するカメラ
 電文を盗聴からまもるトリプルDES暗号

3. ICカード利用可能

4. 暗証番号変更・利用限度額変更

5. 画面を利用した広告・警告

6. 提携金融機関ごとの画面表示

カードを挿入するだけでお客さまが見慣れた各提携銀行のATMと同様のオリジナル画面を表示



7. 電子マネーへの入金



(nanacoカード)

8. 海外カードを利用可能

海外発行のキャッシュカードやクレジットカードで円の引出しが可能



9. 視覚障がい者も利用可能

音声ガイダンスに従ってインターホンで操作できる機能を装備

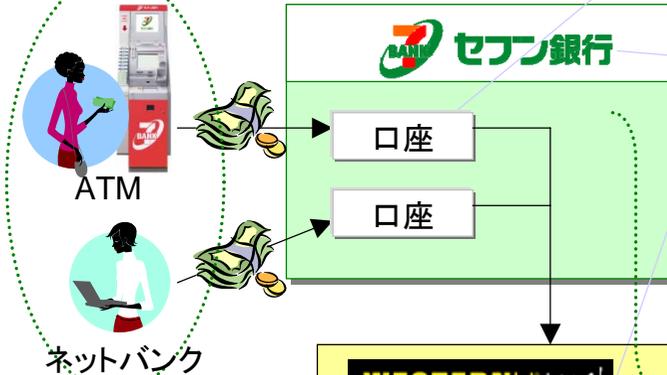
10. 貸金業法定書面を印字可能

提携先に代わって貸金業法で求められる書面を印字可能



ATM約15,000台
ネットバンクも対応
⇒24時間どこでも送金可

- ・口座開設時に厳格な本人確認実施
- ・受取人も事前登録
- ・土日、深夜も送金可
- ・ATMは日本各地のセブン-イレブン・野村證券等があり、地方でも気軽に利用可能



口座での不正チェックを徹底

- ・疑わしい取引等の厳格なチェックを実施。発見した場合は、迅速に当局に報告。

財務健全性

- ・サービス運営を支える財務健全性

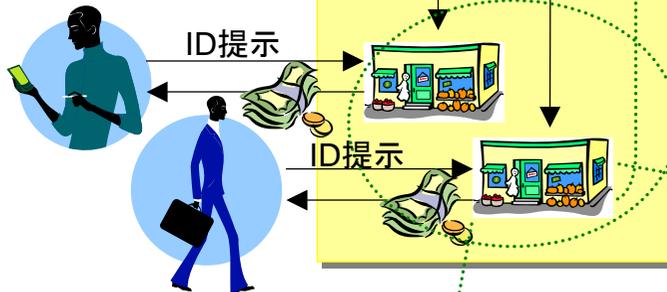
セブン銀行 AA-(S&P)
ウエスタンユニオン
A+(S&P)

最短数分で送金完了(受取可)

- ・送金完了後、最短数分以内に受取が可能

送金手数料:未定

- ・競争力ある水準を検討中
- ・お客さまの手数料負担感を軽減し、手軽な送金チャネルとしてのポジション確立を目指す



受取りに口座不要

世界約200の国と地域の約40万の代理店で受取可

- ・不正送金リスクの高い国を除き、ほぼ世界中の国と地域に送金可能

- ・現地法制で認められた身分証明書で本人確認等を行い、現金で払い出すので、口座不要

◆ お取引時間のスピードアップ

- ・取引時間を3分の2に短縮

～紙幣受取後、次の取引開始までの準備時間を大幅短縮

◆ 環境への配慮

- ・省電力化(現行機比で約48%削減)

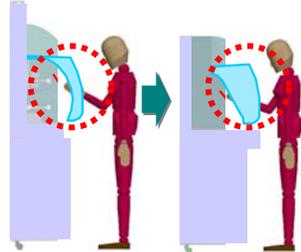
～取引時間以外は常に省電力状態
画面バックライトのLED化等

- ・資源の有効活用

～長寿命部品、リサイクル可能素材の活用(RoHs基準対応)

◆ 安心・安全にお取引できる機能の拡充

- 1) よりコンパクトに、より使いやすく



第2世代ATM 第3世代ATM

- ・操作画面の位置・角度を変更し、左右の「ついたて」に守られる範囲を約2倍に拡大
⇒画面や操作をより見られにくくしプライバシー性向上



- ・インターホン、入力ボタンを第2世代ATMより低い位置に設置
⇒車椅子でご利用のお客さまにとって操作性が改善

- 2) より安心して利用できる機能の追加

ATM上部カメラ

～取り忘れ警報発生時の状況を記録。お客さまとATM周りのセキュリティ確保

取り忘れ防止センサー

～カード・現金を取り忘れて立ち去ったことをセンサーが検知し、音声でお知らせ

第2スピーカー

～現金取り忘れ防止のため、紙幣口付近にスピーカーを追加



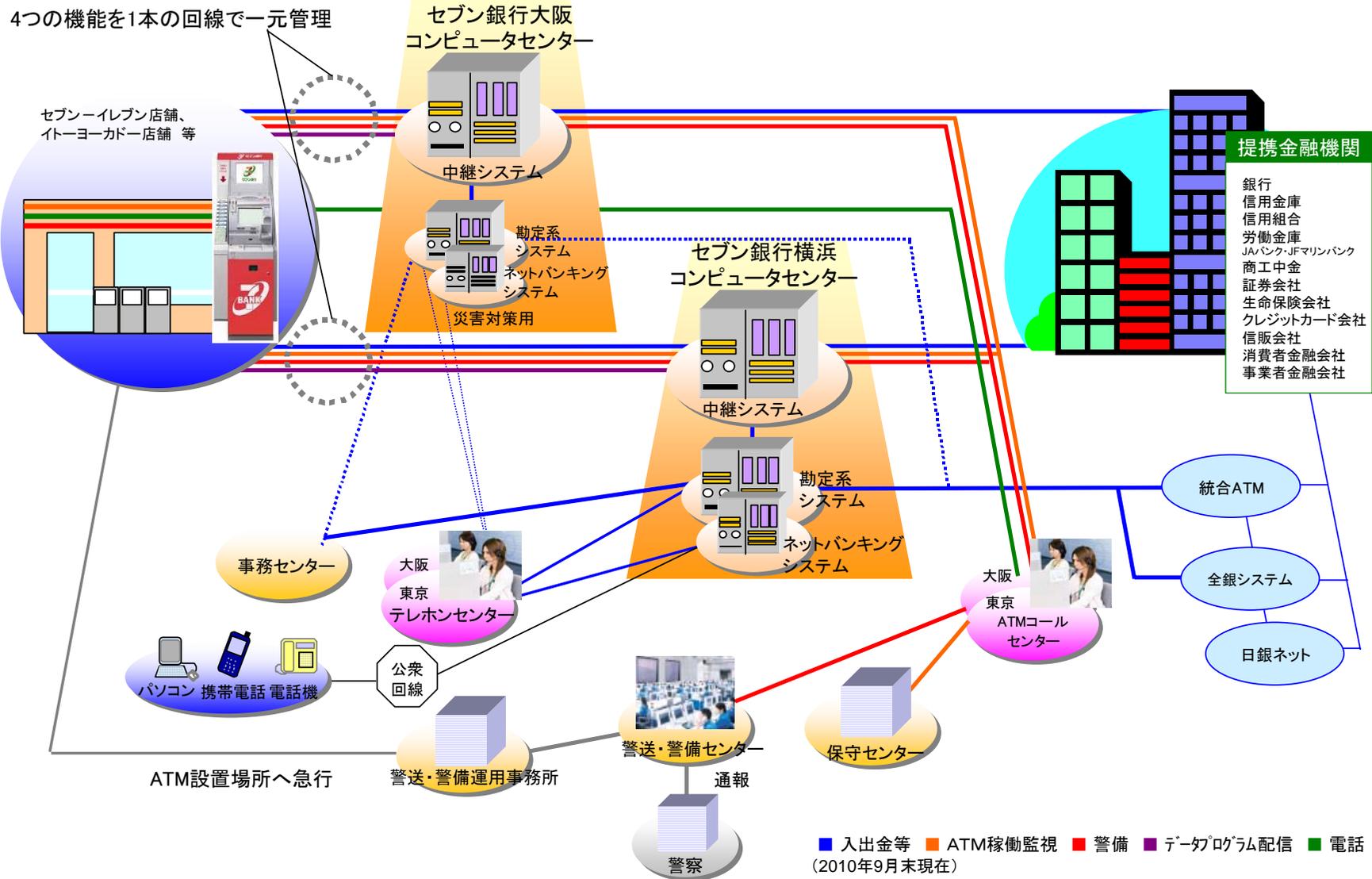
◆ 現金オペレーションの強化

- ・ 現金カセットを増やし、紙幣容量を増やすことで、現金補充等にかかるコストを抑制
- ・ 設置場所やATMの利用状況に応じた柔軟なカセット運用により現金切れを防止
 ～カセット個別交換を可能にすることでより効率的な運用を実現。トータルの現金保有額を抑制

	第2世代ATM	第3世代ATM
現金カセットと紙幣容量の増加		
設置場所や利用状況に応じたカセット運用(例)		

注) リジェクト庫＝入金紙幣の中に汚損紙幣が有った場合、出金しないように格納する金庫

4つの機能を1本の回線で一元管理



社是

1. 私たちは、お客さまに信頼される誠実な企業でありたい。
2. 私たちは、株主、お取引先、地域社会に信頼される誠実な企業でありたい。
3. 私たちは、社員に信頼される誠実な企業でありたい。

経営理念

1. お客さまのニーズに的確に応え、信頼される銀行を目指します。
2. 社員一人一人が、技術革新の成果をスピーディーに取り入れ、自己変革に取り組んでいきます。
3. 安全かつ効率的な決済インフラの提供を通じて、我が国の金融システムの安定と発展に貢献します。

倫理憲章

＝ 当社が遵守すべき倫理上の規範、経営判断に際し常に拠り所となるもの

1. 銀行の公共性・社会的責任の自覚
2. お客さま第一主義の実践と時代のニーズに合ったより高い利便性の提供
3. 誠実・公正な行動
4. 社会とのコミュニケーション
5. 人間性の尊重

コンプライアンス遵守基準

1. ルールは守る。
2. 約束を守る。
3. 嘘はつかない。
4. 事実は隠さない。
5. 機密は守る。
6. 迷惑はかけない。
7. 公私混同しない。
8. 不正は許さない。
9. サービス業の原点を忘れない。
10. 自らの言動に責任をもつ。